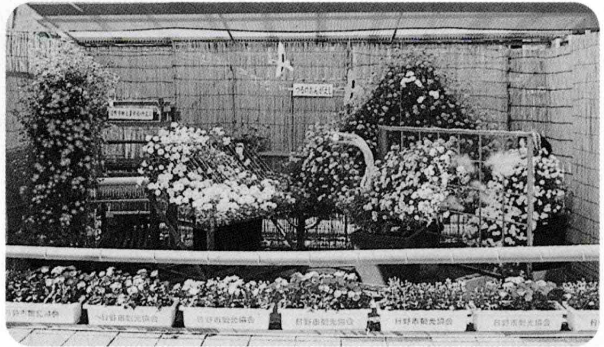




菊花展



日野市の花「菊」どうして、この花作りが多くの人々に好まれていたのか、それには「花や姿が美しいこと・栽培管理にある程度手がかりかつ、技術を要すること・いろいろな品種や種類を集めるコレクションに興味につながるこ



と・ある程度の場所があれば楽しめること」などがあげられております。
手をかければかけるほど、その花が受け止めて、素晴らしい花となって答えてくれる。今年も菊花展にはこうした多くの愛好家が丹精込めて作り上げたすばらしい作品が展示されました。
「多くの人々の心に、見事に溶け込んで、ほかに味わうことのできない心の癒しを与えてくれました。」
今年で40回となった高幡不

動尊の境内での菊花展、今では近郷近在の11市町村にも及ぶ菊友会の大規模な展示会となりました。

日野市から毎年孔雀や三重塔、鶴といった作品や菊人形富士山といった大物を出品していますが、昨年に続き今年「鶴の恩返し」をテーマとし、鶴を中心に、織機と、反物を、そっと隣の部屋で仕上げを楽しみに待つ人を菊で表現した作品が、大変好評でありました。また、ミニ庭園風にとはいずれ違った雰囲気が出ておりました。



作品作りには本当に関係者の努力に敬意を払います。

一方、市役所前では、日野市環境緑化協会が菊花コンテストを毎年行っています。

配布苗による菊花コンテストが行われ、ポットマムとスプレー菊の部門で市内の小学校の部では日野市立第二小学校、老人会の部では久和の美会、一般市民の部では天野正次氏・芹沢美恵子氏が日野市長賞を受賞されました。

また、大菊の部では悠悠クラブが見事日野市長賞を受賞されました。

その他、各賞に輝いた作品も展示されました。
また、同時開催となった日

野市菊友会の皆様方の作品も展示され、これ、また素晴らしい大菊の各部門の入選作品も展示されました、日野市からは古代菊や大菊、なども数多く出展されました。
これからも、多くの市民の皆さんに、この素晴らしい菊作りをおして、心温かなおもてなしの心を養っていただき、市民の皆様「心豊かな人づくり」を進めていただきたいと思っております。

平成22年11月11日

日野市環境緑化協会

